

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告 ※やむを得ない事由により電子公告をすることが出来ない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。 http://www.mutoh-hd.co.jp
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
名義書換手数料	無料

(お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求などに必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人の下記のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。
 - フリーダイヤル 0120-78-2031 (受付時間：平日9:00～17:00)
 - ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

第58期 報告書

2006年4月1日から2007年3月31日まで

MUTOHホールディングス株式会社

(旧社名：武藤工業株式会社)

銘柄コード7999

人と企業の創造力を高めたい

生活や産業、社会を進化させていくのは、人間の創造力です。

人と企業の創造力を高める製品やサービスをお届けするのが、私たちMUTOHの使命。

モノづくりのプロとともに歩んできたMUTOHならではの視点から、新しい価値の創造に貢献していきたいと考えています。



インスピレーションを、感動に

デザイナーの思いを、高画質で鮮やかに表現する。
MUTOHは、感動をひろげます。

IDEA アイデアを、驚きに

企画から設計までをITでサポートする。
MUTOHは、設計者のヒラメキを驚きに変えます。

IMAGE イメージを、共通の言葉に

設計者のイメージを「図面」という共通の言語として伝える。
MUTOHは、モノづくりへの思いを賞賛へと導きます。

MUTOHホールディングス、誕生。

常に革新し 挑戦を続け 社会に貢献する

平成19年4月1日より「武藤工業株式会社」は「MUTOHホールディングス株式会社」に商号変更し、持株会社として新たなスタートを切りました。

情報画像関連機器事業・情報サービス事業につきましては、新たに設立した「武藤工業株式会社」に承継しました。

今後は上場会社であるMUTOHホールディングス株式会社を中心に、攻めのグループ経営へと転換してまいります。

当社グループを取り巻く市場は、ビジネス環境の変化と技術革新の大きな変革期に差し掛かっており、市場環境の変化に対応し、お客様に最適な提案と最高の価値を提供することが求められています。

持株会社体制によりMUTOHブランドの価値の向上・拡大につながるものと確信しております。

持株会社であるMUTOHホールディングス株式会社は、グループ戦略による経営資源の最適化、市場変化に対応した経営意思決定の迅速化、コーポレート・ガバナンスの強化を実現し、グループ各社はそれぞれの得意分野の事業に注力し、グループ会社間のシナジー効果の極大化を目指すとともに、株主重視の経営に徹してまいります。

この新たな経営体制のもと、常に革新し、挑戦を続け、社会に貢献してまいりたいと存じます。

今後ともMUTOHグループに一層のご支援賜りますようお願い申し上げます。



MUTOHホールディングス株式会社
代表取締役 佐藤 敏明

連結決算ハイライト

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第58期報告書をお届けいたします。

当社グループでは国内外での競争の激化、低価格化傾向に対処すべく、コストパフォーマンスに優れた製品投入を本格化し、また、当社グループの営業体制の見直しや企業集団の集約化等、グループ全体としての事業の効率化と積極的な業務提携等の実施による攻めの経営戦略を推進してまいりました。

連結売上高では、ソフトウェア受託開発を主事業とする子会社・関連会社2社の合併効果や海外市場での為替の影響等により、287億52百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

損益面では売上高要因に加え、大判グラフィック用プリンタでのコストパフォーマンスに優れた製品投入の本格化により採算性が改善され、連結経常利益は20億68百万円（前年同期比39.6%増）となりました。また、持株会社移行関連費用39百万円や国内子会社等の固定資産減損損失83百万円等を特別損失に計上したものの、連結当期純利益は10億73百万円（前年同期比20億55百万円の改善）となりました。

なお、剰余金の配分につきましては、今後の事業環境を勘案し、財務体質強化の観点から全額を内部留保させていただき資本の充実を図るため、まことに遺憾ながら実施を見送らせていただきます。

株主の皆様には、よろしくご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

○連結売上高
第58期 **28,752**百万円
第55期 26,501百万円 第56期 28,974百万円 第57期 28,612百万円

○連結経常損益
第58期 **2,068**百万円
第55期 1,049百万円 第56期 1,416百万円 第57期 1,481百万円

○連結当期純損益
第58期 **1,073**百万円
第55期 622百万円 第56期 690百万円 第57期 △982百万円

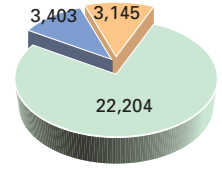
○連結総資産額
第58期 **29,723**百万円
第55期 28,532百万円 第56期 29,464百万円 第57期 27,683百万円

○連結純資産額
第58期 **18,744**百万円
第55期 17,386百万円 第56期 18,262百万円 第57期 17,529百万円

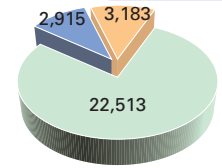
当期事業別セグメント売上高(百万円)

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
その他の事業

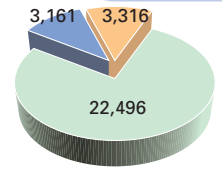
・第58期 **28,752**百万円



・第57期 **28,612**百万円



・第56期 **28,974**百万円



次期の業績予想

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績予想	29,500	2,100	2,100	1,100

情報画像関連機器事業における当社グループ製品の世界における市場環境は、低価格化傾向とともに、ますます競争が激しくなっており、当面は厳しい状況が続くものと想定されます。情報画像関連機器事業では引き続きコストパフォーマンスに優れた大判インクジェットプリンタの開発と市場投入、また情報サービス事業では採算性のよい自社ブランドCADソフトの拡充等に努めてまいります。

CONTENTS

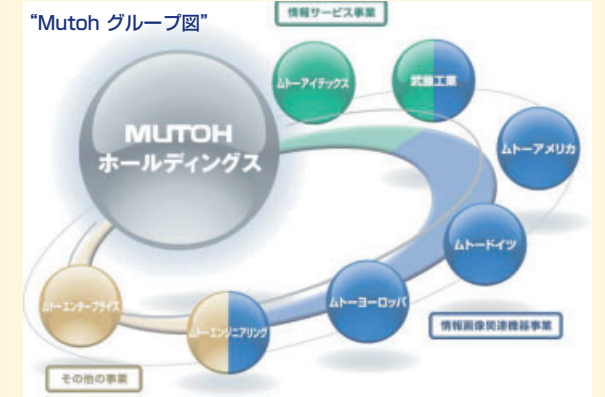
トップメッセージ	1
連結決算ハイライト	2
トピックス	3
事業セグメントの概況	
情報画像関連機器事業	4
情報サービス事業/その他の事業	5
財務諸表	
連結財務諸表	6
個別財務諸表	8
会社の概要/役員/株式の状況	9

トピックス

新生MUTOH“シンボルグラフィック”のご紹介



企業活動のコアである「創造」をメインコンセプトに「拡散する光」は「新生MUTOHホールディングス」と「攻めのグループ経営姿勢」を表し、「輝く地球」は世界に広がるMUTOHグループを表しています。
お客様の満足とともに、企業価値を高めていきます。
絶えず輝き続ける「Mutoh Earth」、これからのMUTOHホールディングスのビジョンを表現しています。



事業戦略を担うMUTOHホールディングスを核に、7つの事業会社が集い、最適の提案と最高の価値をお届けする活動を続けています。
事業セグメント毎に色分けしグループ各社が行っている事業を分かりやすく表現しています。

本社事務所移転のお知らせ

オフィスオペレーションの効率化およびグループ経営の強化を目的として平成19年4月に本社事務所を移転いたしました。

新住所：〒141-8683
東京都品川区西五反田七丁目21番1号 第5TOCビル
代表電話番号：MUTOHホールディングス 03-5740-8700（大代表）
武藤工業 03-5740-7000（大代表）

国内外のお客様に「MUTOH製品」を体感してもらいたい！！



イメージ図
本社事務所ショールーム

ショールームは今日も
活気に満ち溢れています

稼動しているプリンタをご覧いただく事で、実際に「MUTOH製品」の最高品質を体感いただけます。

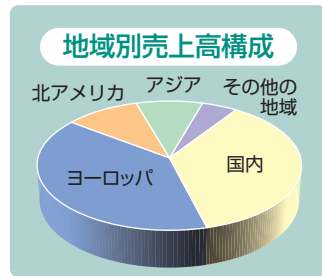
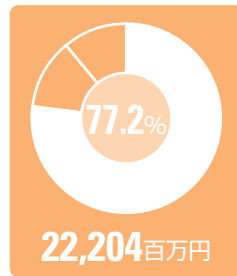


第5TOCビル
JR、都営地下鉄五反田駅より 徒歩8分
東急電鉄目黒線不動前駅より 徒歩6分
東急電鉄池上線大崎広小路駅より 徒歩6分

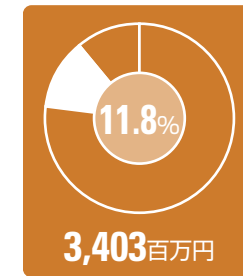
事業セグメントの概況

情報画像関連機器事業

情報サービス事業



概況
大判インクジェットプリンタを中心とした当事業では、競争激化による低価格化に対応したコストパフォーマンスに優れたグラフィック用プリンタの製品投入を本格化いたしました。
売上高では、海外市場は依然好調に推移しているものの、国内市場での減少から222億4百万円（前年同期比1.4%減）となりました。また、損益面では新製品効果と為替の影響が大きく貢献したことから、営業利益は16億40百万円（前年同期比85.2%増）と大きく改善いたしました。



概況
CAD用ソフトウェア事業では、採算性のよい製造業向け自社ブランドソフト「M-Draf」シリーズに3次元ソフトウェアを新たにラインアップし、積極的に収益性の向上を図りました。また、ソリューション事業の効率化推進を目的にソフトウェア受託開発を主事業とする子会社・関連会社2社の合併を実施いたしました。その結果、売上高は34億3百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は26百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

真に機能し、顧客ニーズを満足させ、持続する価値を提供 **MI Draf**
同じ製造業の視点から設計・製造現場の声に耳を傾け、お客様の作業効率を真に向上するITソリューションを提供しています。

世界の街角でアウトドアからインハウスまで
MUTOHのプリンティングテクノロジーが人々の目をひきつけています。



• 2次元CADと3次元CADの融合を柱に設計環境を効率化するトータルソリューションを提供

- MI Draf 3D** • ミドルレンジ3次元CADツール
エンジニアリングの上流設計業務をこなす
- MI Draf 2D** • ミドルレンジ汎用2次元CADツール
国内製図通則に準拠、設計者の実務に即した設計・製図ツール
- MI Draf** • ローコスト実施設計用2次元CADツール
実施設計や営業、製造向けパーフェクト作図ツール
- M-Draf Suite** • 2D&3D総合パッケージ (M-Draf 3D+M-Draf Spirit)
2次元図面へのシームレスなデータ連携を実現

• 設計情報のシームレスなグループ共有で業務を改善、企業の成長を力強く支えます。

- web** • 図面データを総合管理
手書き図面からCADデータまで総合管理
- Omni** • データリレーションをサポート
ブラウザビューワー標準搭載
- 認定ワークフローソフト** • 認証ワークフローソフト
ワークグループプロセスを支援
- EDGESWEEPER** • 多目的ラスタ作図ソフト
紙図面のデジタル化を強力にバックアップ
- ReViPS** • DXF/DWG変換支援ソフト
DXFデータの運用をさまざまな角度から支援

ファイルリンク
データ連携を促進しやすく
総合管理する

3D CAD
建築設計における設計・製図の向上
設計情報の活用を促進

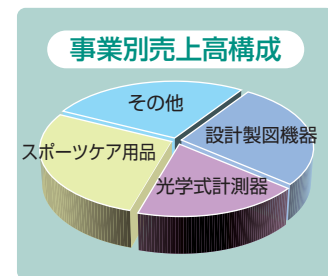
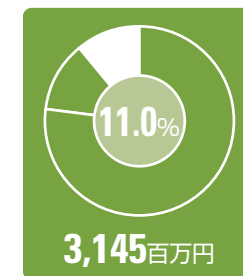
エンタープライズ
システム統合

エンジニアリング部門、
製造、販売、メンテナンス
等の各部門間との
データ連携へ

外部プロセスとの
統合

ワークグループプロセス
顧客からの電子情報への集約、
異なるシステム間の連携を促進し、
データを統合する

その他の事業



概況
その他の事業は「設計製図機器」、「光学式計測器」、「スポーツケア用品」、「書籍・文具店等の店舗」等の安定した事業で構成されております。売上高は店舗部門の減少等により31億45百万円（前年同期比1.2%減）となりましたが、営業利益では、営業費用の圧縮等により2億72百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

財務諸表

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 平成19年3月31日現在	前期 平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,939	18,814
現金および預金	5,819	7,192
受取手形および売掛金	6,574	6,764
たな卸資産	4,612	4,514
その他	932	343
固定資産	11,783	8,869
有形固定資産	9,866	6,977
無形固定資産	180	144
投資その他の資産	1,736	1,747
投資有価証券	1,015	1,181
その他	721	566
資産合計	29,723	27,683

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 平成19年3月31日現在	前期 平成18年3月31日現在
負債の部		
流動負債	6,712	6,488
支払手形および買掛金	4,034	4,179
短期借入金および 一年以内返済予定の長期借入金	82	147
その他	2,595	2,162
固定負債	4,266	3,665
長期借入金	1,125	1,352
その他	3,141	2,312
負債合計	10,978	10,154
少数株主持分	—	—
資本の部		
資本金	—	10,199
資本剰余金	—	4,592
利益剰余金	—	3,980
その他有価証券評価差額金	—	388
為替換算調整勘定	—	△ 993
自己株式	—	△ 638
資本合計	—	17,529
負債・少数株主持分および資本合計	—	27,683
純資産の部		
株主資本	18,733	—
資本金	10,199	—
資本剰余金	4,182	—
利益剰余金	5,437	—
自己株式	△ 1,084	—
評価・換算差額等	△ 310	—
少数株主持分	320	—
純資産合計	18,744	—
負債・純資産合計	29,723	—

「株主資本等変動計算書」について

平成18年5月1日施行の会社法に伴い、「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、「貸借対照表」で新設された「純資産の部」の中で、主に株主の皆様へ帰属する株主資本等について、その1会計期間における変動事由と変動額をご報告するために作成する計算書類です。

■ 連結株主資本等変動計算書

当期（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	10,199	4,592	3,980	△ 638	18,134	△ 605	—	17,529
連結会計年度中の変動額								
資本剰余金取崩額		△ 410	410		—			—
持分法適用除外による剰余金減少額			△ 27		△ 27			△ 27
当期純利益			1,073		1,073			1,073
自己株式の取得				△ 446	△ 446			△ 446
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						294	320	615
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 410	1,456	△ 446	599	294	320	1,214
平成19年3月31日残高	10,199	4,182	5,437	△ 1,084	18,733	△ 310	320	18,744

連結財務諸表

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	前期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
経常損益の部		
売上高	28,752	28,612
営業利益	1,962	1,157
経常利益	2,068	1,481
特別損益の部		
税金等調整前当期純利益（△純損失）	1,901	△ 504
当期純利益（△純損失）	1,073	△ 982

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

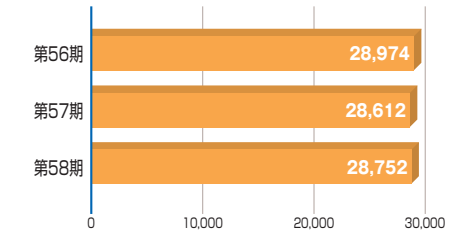
(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	前期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,912	1,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,743	△ 133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 796	△ 1,692
現金および現金同等物に係る換算差額	200	38
現金および現金同等物の増減額	△ 1,426	58
現金および現金同等物の期首残高	7,192	7,133
連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	—
現金および現金同等物の期末残高	5,819	7,192

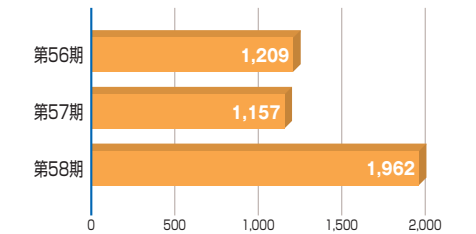
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名（ ）内は持分法適用会社
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ ムトーヨーロッパ社・ムトードイツ社・ ムトーアメリカ社・(株)コスモ
情報サービス事業	武藤工業(株)・ムトーアイテックス(株)・ (ムトーメカトロニクス(株)・(株)デジタルマトリックス)
その他の事業	(株)ムトーエンジニアリング・(株)ムトーエンタープライズ

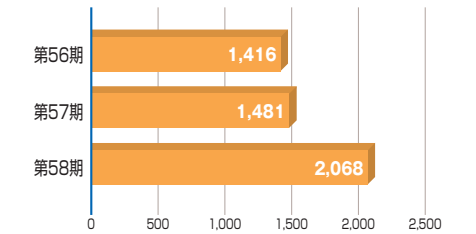
売上高の推移 (単位：百万円)



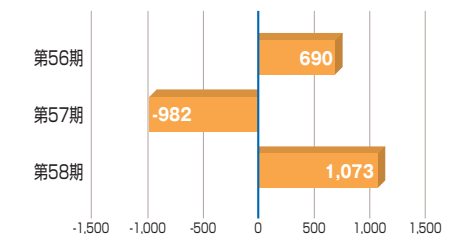
営業利益の推移 (単位：百万円)



経常利益の推移 (単位：百万円)



当期純利益の推移 (単位：百万円)



個別財務諸表

■ 個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 平成19年3月31日現在	前期 平成18年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,512	12,022
固定資産	10,094	9,153
有形固定資産	5,013	5,161
無形固定資産	139	117
投資その他の資産	4,942	3,874
資産合計	19,607	21,176
負債の部		
流動負債	3,943	4,217
固定負債	1,758	2,825
負債合計	5,702	7,043
資本の部		
資本金	—	10,199
資本剰余金	—	4,592
利益剰余金	—	△ 410
その他有価証券評価差額金	—	385
自己株式	—	△ 634
資本合計	—	14,132
負債・資本合計	—	21,176

■ 個別損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	
	当期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	前期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
経常損益の部		
売上高	15,100	16,712
営業利益(△損失)	71	△ 239
経常利益	413	280
特別損益の部		
税引前当期純利益(△純損失)	297	△ 723
当期純利益(△純損失)	322	△ 832
当期末処分利益(△損失)	—	△ 410
純資産の部		
株主資本	13,622	—
資本金	10,199	—
資本剰余金	4,182	—
利益剰余金	322	—
自己株式	△ 1,081	—
評価・換算差額等	282	—
純資産合計	13,904	—
負債・純資産合計	19,607	—

■ 個別株主資本等変動計算書

当期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	10,199	4,592	△ 410	△ 634	13,746	385	14,132
事業年度中の変動額							
その他資本剰余金取崩額(注)		△ 410	410		—		—
当期純利益			322		322		322
自己株式の取得				△ 446	△ 446		△ 446
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額						△ 103	△ 103
事業年度中の変動額合計	—	△ 410	733	△ 446	△ 124	△ 103	△ 227
平成19年3月31日残高	10,199	4,182	322	△ 1,081	13,622	282	13,904

(注) 平成18年6月の定時株主総会における損失処理項目であります。

会社の概要

(平成19年4月1日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
 (英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
 設立 1952年3月5日(創業:1942年12月)
 資本金 101億99百万円
 本社事務所 東京都品川区西五反田七丁目21番1号 第5TOCビル
 Tel.03-5740-8700(代)
 Fax.03-5740-8710
 ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp/>
 主な事業内容 ・グループ会社の経営管理
 ・グループ資産管理
 ・その他

グループの主な事業内容 ●情報画像関連機器の開発・製造・販売
 ・インクジェットプリンタ・プロッタ、ペンシル/ペンプロッタ
 ・カッティングプロッタ
 ・イメージスキャナ
 ・上記製品の保守メンテナンス
 ●情報サービス(CAD/CAM)の開発・製造・販売
 ・2次元CADシステム、3次元CADシステム
 ・関連ソフトウェア、システムインテグレーション
 ●その他の事業
 ・設計製図機器・光学式計測器の開発・製造・販売
 ・スポーツケア用品輸入販売
 ・書籍等店舗経営
 ・その他

役員

(平成19年6月28日現在)

取締役会長 高山 允 伯 取締役 早川 信 正 常勤監査役 小林 明 樹
 代表取締役社長 佐藤 敏 明 取締役 アーサー・バンハウテ 監査役 徳納 恭 紀
 取締役 前川 善 太郎 監査役 三橋 正 典

株式の状況

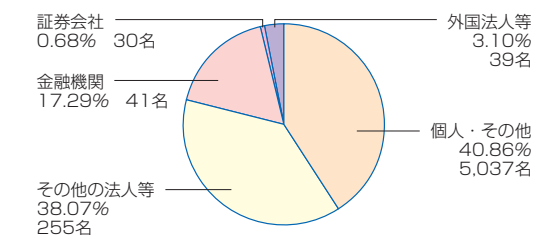
(平成19年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 170,000,000株
- 発行済株式総数 54,818,180株
- 1単元の株式数 1,000株
- 株主数 5,402名
- 発行済株式の総数の10分の1以上の数の株式を保有する株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,200	26.0

(注) 出資比率は自己株式(4,242,310株)を控除して計算しております。

■ 所有者別分布状況



■ 所有株式数別分布状況

